

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ゆめの園みらいず笠幡 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 20日		R7年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50人	(回答者数) 30人
○従業員評価実施期間	R7年 12月 18日		R7年 12月 24日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子供の状況を保護者と伝え合う機会があるため、情報の共有がしっかりとできている	引継ぎの際に利用時の様子を細かくお伝えしている	引継ぎ時に相互間で問題される行動が浮き彫りになった際は、別に時間を設けて面談などを実施して解決にむけて話し合いをする
2	活動のプログラムが固定化されていない	同じプログラムが続かないよう気を付けている 職員にも早めにプログラムの案を募り意見を抽出している。	生成AIを活用して様々なプログラムを提案、実施していく。
3	こどもの活動スペースは十分に確保されている。	プログラム内容によっては部屋で分けるなど活用している。	銀ラックなどの不要な棚を取り除いて、スペースをさらに活用できるようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会がない	保護者を巻き込んだプログラム等が展開できていない	年1回は保護者同士で交流できるような機会を設けていく。 駐車場の兼ね合いもあるので、開催場所を検討する。
2	家族支援プログラムや家族も参加できる研修会や情報提供の機会がない	家族支援プログラムを実践できる人材が不足している	子どもとの関わり方や日常での困りごとが解消できるような研修を実施し保護者にも参加の声掛けを行っていく。研修を委託できるような機関を探す。
3	他事業所の児童や児童館、地域の子どもと活動する機会が少ない	開催日が基本土日であるため参加できる機会が少ない	平日に開催できるよう検討をしていく。 ボランティアさんと交流する機会を増やしていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果 (放課後等デイサービス)

事業所名 ゆめの園みらいず空幅 児童発達支援・放課後等デイサービス

公表日 2026/2/25

利用児童数 50人

回収数 30人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	2			園庭などもあり体を十分に動かして遊ぶことができていると思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	23	3		4	その日の利用者数と職員の方の人数がわからない。送迎に添乗がついているのは安心できます。可能なら職員を増やして頂いて子供達が利用できる日を増やしてほしい。大変なお仕事だと思えますがスタッフさんの入れ替わりが早いので長く続けられる環境に改善して頂きたいです。	※
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	2			毎日掃除きちんとしているのが良いです。子供と一緒にやっているのも良いと思います。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	3		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	3				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	2				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2	1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	3				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	3		1		
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	4	4	9	プログラム上はあることを認知していますが利用日にはないため		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27	1	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	8	5	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30				送迎の際やさらに連絡アプリで丁寧に教えてくださるので安心です。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	3				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1		1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	7	9	6	参加をしたことがないため	保護者同士の交流がもてるような機会を設けていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	3		5		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	27	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	1	2	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2	1	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	3		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28			2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28			2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	3	1		利用日を増やしてほしい。 サービスが細やかで丁寧に接して頂き、大変満足しています。しかし曜日固定で予約が取れないため仕事のある日は曜日固定で必ず予約がとれる他の事業所を利用しています。キャンセル待ちが多い点を改善またはキャンセル待ちになる日が早く分かるようにして頂きたいです。日曜日の開所が安定するとありがたいです。	キャンセル待ちにつきまして、ご家族様にはご迷惑をお掛けしており大変申し訳ありません。利用枠に空きが出次第、キャンセル待ちの利用者様にご連絡します。

公表 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		ゆめの園みらいず笠幡 児童発達支援・放課後等デイサービス				公表日 2026/2/25	
		チェック項目		工夫している点		課題や改善すべき点	
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				職員間で指導技術の差があるので足りない気がする
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関前はスロープになっている。玄関や廊下には手すりを設置している。		段差等が多いので改善は必要。 ガスコンロなどの尖った部品のある場所やごみの整理などを改善したほうが良い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	5Sチェックを毎週行うことで細部まで掃除や整頓が出来るよう努めている。		ガスコンロなどの尖った部品のある場所やごみの整理などを改善したほうが良い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事例検討会などで意見交換ができています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			R8年には外部評価で出来るよう努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				早めに紙媒体で行事や活動内容の提案ができるので意見が出しやすい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				生成AIを使用したり、職員間で意見を募りながらプログラムを変動させています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6				毎日実施している朝礼の中で、伝達事項や支援時の注意事項を共有している。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		ご家族とはHUGで連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	1	合同行事や地域交流などで機会を設けている。	交流する機会が少ないので、交流の場や一緒にできるイベントの開催を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		今後は積極的に参加していく
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		家族が参加できるようなプログラムを検討していく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は鍵付きのキャビネットで保管している	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	アレルギー等対応一覧を作成し、昼食やおやつの際に確認しながら提供をしている。調理活動がある際は事前に扱う食材や調理内容を保護者に伝えている。	医師からの指示書があるなしについては改めて確認を行い、適切な対応が出来るよう努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事案ごとにファイルに綴じ込み、いつでも確認できるようにしている。事案発生後に話し合いを行い再発防止策案を出し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	ゆめの園みらいず笠幡 児童発達支援・放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年 11月 20日		R7年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 2人
○従業者評価実施期間	R7年 12月 18日		R7年 12月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子供の状況を保護者と伝え合う機会があるため、情報の共有がしっかりとできている	引継ぎの際に利用時の様子を細かくお伝えしている	引継ぎ時に相互間で問題される行動が浮き彫りになった際は、別に時間を設けて面談などを実施して解決にむけて話し合いをする
2	活動のプログラムが固定化されていない	同じプログラムが続かないよう気を付けている 職員にも早めにプログラムの案を募り意見を抽出している。	生成AIを活用して様々なプログラムを提案、実施していく。
3	こどもの活動スペースは十分に確保されている。	プログラム内容によっては部屋で分けるなど活用している。	銀ラックなどの不要な棚を取り除いて、スペースをさらに活用できるようにする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会がない	保護者を巻き込んだプログラム等が展開できていない	年1回は保護者同士で交流できるような機会を設けていく。 駐車場の兼ね合いもあるので、開催場所を検討する。
2	家族支援プログラムや家族も参加できる研修会や情報提供の機会がない	家族支援プログラムを実践できる人材が不足している	子どもとの関わり方や日常での困りごとが解消できるような研修を実施し保護者にも参加の声掛けを行っていく。研修を委託できるような機関を探す。
3	他事業所の児童や児童館、地域の子どもと活動する機会が少ない	開催日が基本土日であるため参加できる機会が少ない	平日に開催できるよう検討をしていく。 ボランティアさんと交流する機会を増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 ゆめの園みらいず笠橋 児童発達支援・放課後等デイサービス

公表日 2026/2/25

利用児童数 3人

回収数 2人

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2				園庭などもあり体を十分に動かして遊ぶことができていると思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切な 支援 の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
保護者 への 説明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			1		1	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1		1	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 *	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1		1	幸い今まで預かって頂いた時にそのような事がないです	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2			ゆめの園さんに行く！と良く言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表 事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		ゆめの園みらいず空橋 児童発達支援・放課後等デイサービス				公表日 2026/2/25	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			職員間で指導技術の差があるので足りない気がする		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	玄関前はスロープになっている。玄関や廊下には手すりを設置している。	段差等が多いので改善は必要。 ガスコンロなどの尖った部品のある場所やごみの整理などを改善したほうが良い		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	5Sチェックを毎週行うことで細部まで掃除や整頓が出来るよう努めている。	ガスコンロなどの尖った部品のある場所やごみの整理などを改善したほうが良い		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6					
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		事例検討会などで意見交換ができています。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		R8年には外部評価で出来るよう努める。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6					
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6					
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6					
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6					
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6					
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6					
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		早めに紙媒体で行事や活動内容の提案ができるので意見が出しやすい。			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		生成AIを使用したり、職員間で意見を募りながらプログラムを変動させています			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6					
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日実施している朝礼の中で、伝達事項や支援時の注意事項を共有している。			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		ご家族とはHUGで連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	1	合同行事や地域交流などで機会を設けている。	交流する機会が少ないので、交流の場や一緒にできるイベントの開催を検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		今後は積極的に参加していく
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		家族が参加できるようなプログラムを検討していく
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報は鍵付きのキャビネットで保管している	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	アレルギー等対応一覧を作成し、昼食やおやつの際に確認しながら提供をしている。調理活動がある際は事前に扱う食材や調理内容を保護者に伝えている。	医師からの指示書があるなしについては改めて確認を行い、適切な対応が出来るよう努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事案ごとにファイルに纏じ込み、いつでも確認できるようにしている。事案発生後に話し合いを行い再発防止策案を出し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			